

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 07 市民に信頼される会計事務の実現

施 策 : 01 適切な会計処理と確実な資金の運用

施策担当職・氏名 会計課 総括主査 岡田 久美

1. 施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

担当課より提出される会計伝票において、審査による返却事由の分析をもとに会計事務研修会を実施し、職員の会計事務の知識を高め、適正かつ迅速な支払事務に努めます。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮ら し 単 位 %	8.9	8.25	8	7.75	7.5	7.5	A
			9.46	5.83	-	-	-	219.3
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
1	7445 会計管理事務 審査時の返却伝票削減率（審査件数に対する返却件数の割合） 単 位 %	目標値	9	8.5	8.25	8	7.75	7.5
		実績	9.91	8.91	9.46	5.83	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

後期基本計画 令和 2年度 施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 07 市民に信頼される会計事務の実現

施 策 : 01 適切な会計処理と確実な資金の運用

施策担当職・氏名 会計課 総括主査 岡田 久美

2. 施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 資金運用が厳しい状況にありますが、資金計画の精度を上げ、運用回数を増やすことで、安全かつ有利な資金運用に努めました。 法令、庁内ルール等の徹底により、債権者に対して適正かつ迅速な支払を実施しました。 研修や日常的事務指導を行うことで、会計事務知識の向上や意識の高揚を図り、各課から提出される伝票の誤り、不備等で返却（差戻）する割合の削減に取り組みました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点事業】 適正な会計事務の維持。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】 日常的事務指導のほか、伝票返却事由の分析を基に、返戻が多い内容を重点とした研修を実施しました。</p>	

3. 施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたるマイナス金利政策により低金利となり、以前と比べ資金運用が難しくなっています。 収納、支払方法において電子マネーの利用等の動きがあり、今後の法改正等を注視する必要があります。 	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<p>基本施策の目標を実現するためには、同一内容の施策の継続が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 引き続き適正な会計事務の実現に向けて、全庁的に会計事務の知識の周知と意識の高揚を図ります。</p> <p>【引継課題】 効率的な資金管理を行うとともに、公金、基金の運用方法の研究を進めること。</p>	

